

事業所名	社会福祉法人 清樹会 多機能型児童発達支援事業所 日向の杜
------	-------------------------------

公表日 令和8年 1月 28日

利用児童数 10名

回収数 9

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9				・走り回っても充分走れる広さ。	お部屋を広く使えるような環境に設定させていただいてます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3	3	3		・朝のおあつまりの時間までの間に先生が誰も部屋にいない時間残りの際や（自分が）親が一緒に来ていない子がいる時に心配になったりトラブルの際の対応が難しいかなと思います。 ・子供の数が増えたので先生も増やしていただけたらと思っています。	多機能型で行っていることから、職員全員が情報を共有する時間がどうしても朝の時間になってしまい、時間を圧迫してしまっています。開始につづけで朝が進められるようにし、職員がいい環境がないようにします。 一人は体育体のため、代替職員の募集はしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9				・物が常にある状態よりは集中できて良い環境です。	子どもさんたちが集中できる環境にできるように心がけております。引き続き行なっていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9				・いつもきれいだと思う。 ・清潔である子供は寝ころぶことがあるので落ち着ける環境だと思います。	安心安全の環境を心掛け、引き続き環境整備に心掛けます。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7			2		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6			3	・合っているとは思います。	新しいものを取り入れながら、子どもたちのニーズに合わせた活動を引き続き展開していきます。
	7	子どものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9				・支援計画がある事で本人の課題が分かりやすく支援内容も具体的になるので良い。	引き続き、子どもさんを真ん中に支援計画に沿った支援をチームで行なっていきます。ありがとうございます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6		1	1	・発達のいろんな刺激でいっぱい感覚を養える為工夫されている。	引き続き、子どもさんを真ん中に子どもさん一人一人にあった活動をチームで行なっていきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。			5	4	・日向の杜でそのような機会はないですかが必要性を感じないです。	必要があれば取り入れていきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	1			・しっかりした説明がありました。	引き続き、分かりやすい説明に心掛けます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	1		1	・読みあげしながら説明がある為分かりやすい。	引き続き、分かりやすい説明に心掛けます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1		1		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9				・子供のこまり事など相談はしやすい。	子育てをしているお母さん方のおたくさんお話を伺いながら、お母さん方の力を引き出していくます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9				・助言等あるのは、すごく助かるが家ではうまくいかない事もある。	一緒に考えさせていただきありがとうございます。色んな困りごとを私たちに話して下さることに一つ一つ真摯に向き合います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8		1		・保護者同士の交流があることで親しくなる事ができ夫婦でも共有できる。	ご家族皆さんが日向の杜での出来事や活動のことを共有して下っていることでお子さんの力になっています。とてもうれしいです。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7		2		・お知らせ案内などギリギリだと思う。 ・子供にも分かりやすく説明して理解しやすくしてくださる。	・15日の月計画時点で決める様に努めます。わかった時点で、すぐに伝えていける様にします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	1				

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	2		<ul style="list-style-type: none"> 新年度説明会で配布された資料に「感染症が分かった時点で全員へ周知する」とあったが周知された事は一度もないのを周知していただきたい。（書くランが違うと思いますが） 感染症が出た場合（インフル、コロナ、RS、ブルー熱など）は教えてほしいです。 訓練した際実際に想定された状態でするので、すごく為になった。 	新年度説明会でそのようにお伝えしましたが、保護者さんの中で、誰が感染したかの特定を求めるご意見がありました。そのことを受けまして、人数が少ない分、名前が特定されてしまい、追い込まれてしまう恐れ、（現に保護者さんが不快感を抱かれた方がいらっしゃいましたので）感染症の公表を控えておりました。今後について、検討いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1	2	<ul style="list-style-type: none"> 訓練が年1回は少ない気がする。 もう少し定期的に避難訓練等があつてもいいと思います。 	避難訓練は今年度開催回数がまだの分があります。今年度中に開催します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7		1	1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1		1	<ul style="list-style-type: none"> 状況説明が、ちゃんとあり対策実施してください。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9				<ul style="list-style-type: none"> 最初は子供本人の他者で気が抜けなかつたけど、それがなくなつてからは安心して通所できるようになりました。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9				<ul style="list-style-type: none"> 本人も楽しいみたいで、いつも喜んで通ってくれます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9				
	30	ご家族参加型の行事（あそぼう会・クリスマスお楽しみ会など）に満足していますか？具体的な感想をお願いします。	9				<ul style="list-style-type: none"> クリスマス会で、子供たちの成長を見る事が出来て感動しました。 企画や準備等、大変な中楽しく参加させていただきありがとうございます。 企画等大変かと思います。いつもありがとうございます。 今しか見れない子供の姿、成長が近くで見れる貴重な体験がでて良いです。

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのかがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。